

# なほ

9 月号  
vol. 151



特集

# だじだじ

⑥「夢のあるまちづくり」のいま

「ひょっこり道しるべ」  
玉出東2丁目付近にて撮影

2018年1月からゆ〜とあいは居住支援法人のなかま入り。まちの人の相談の中で「このまちの公営住宅や古い木造住宅をもっと活かさなきゃ。」そんな気持ちがふつつつあふれてくる。ヒントを探しにいろんなところへ、いろんなひとに。

# すむすむ

## ⑥「夢のあるまちづくり」のいま



和歌山県御坊市の島団地建替は1999年に日本都市計画学会「関西まちづくり賞」を受賞した。御坊市・住民組織「みなおし会」・専門家集団がチームを組み、「団地から立体集落・立体街区へ、場所性の創出」をデザイン

コンセプトに、住民の意向を汲んだ自由設計公営賃貸住宅が誕生した（第一期の秋桜（コスモス）は1997年に完成）。

当時の資料『夢のあるまちづくり』からは、課題の多い従前の島団地、花見会や視察など活気ある「みなおし会」の様子がつかえる。それから約20年。あえて「持家的」発想で建設された公営住宅のいまを取材してきた。

### 島団地の概略

従前の島団地は、1959〜69年に建設された226戸の公営住宅だった。ジェーン台風、第二室戸台風、紀州大水害などの被災者向け公営住宅や応急仮設、改良住宅が混在していた。昼間でも薄暗い廊下や自前のバルコニー増

築、また貸しなど、ハードの老朽化やモラルの低下、コミュニティ機能の停滞などが問題となっていた。当時の資料には「スラム化」という言葉も散見される。

御坊市はこうした状況を踏まえ89年度に「島団地自立援助担当者会議」を庁内に立ち上げた。夏には自前で生活実態調査を行い、翌90年度には神戸大学の平山洋介グループによる再生計画が提言された。再生計画では、現場で再生に専念する横割り組織の必要性が指摘され、同和環境・福祉・児童・教育などの分野に所属していた6名からなる「島団地対策室」が92年に設立された。

そこから再生に向けて、みなおし会のコミュニティプログラム（花見会など）や行政・専門家・住民のワークショップが繰り返され、入居予定者の意向を反映させたコーポラティブ形式の島団地がプロセスを共有しながらつくられていく。共有スペースにも、長屋のような垣根のないベランダや立体街路、屋

上庭園など共有空間が豊富に組み込まれた。その結果、箱型団地とは異なる「夢のあるまちづくり」が具体化され、97年に「コスモス棟（15世帯）」、98年に「すみれ棟（30世帯）」、99年に「カトレア棟（13世帯）」、00年に「すずらん棟（21世帯）」、01年に「さくら棟（25世帯）」の5棟（104世帯）からなる島団地（グリーンハイツ）が完成した。

興味深いのは、①長期にわたって島団地の惨状を放置してきた事実を踏まえて対策室の第一歩は「住民との関係づくり」としたこと。そして、②入居者の選定にあたっては「滞納のないこ



島団地の風景



と「また貸していないこと」「ワークシヨップへの参加」を資格要件とし、「入居者にモラル」を求めたことだ。

### 島のいま

再生団地の完成から約20年が経過した現在の島団地はどうだろうか。入居率は公営住宅の中では築年数が比較的新しいこともあり、ほぼ100%。倍率は約3〜4倍になる人気物件だ。しかし時を経た今、色々と問題も起こっているみたいだ。そもそも島団地は、部屋の間取りから、内装、設備まですべて当時の入居者の希望に沿った自由設計の住宅になっている。部屋ごとに造りが違うため、退去後の修繕には費用と時間がかかってしまう。

新たな入居者からも様々な疑問の声があがっている。特に多いのが、垣根のないベランダと迷路のような複雑な廊下（立体街路）、そして各部屋が丸見えになっていることだ。建設当初は顔の見える関係で受け入れられていたのだが、プロセスを共有していない新入



すみれ棟町内会会長の深尾さん（左）

しかし、深尾さんは心配ごとを一つ抱えている。それは、町内会長という役を引き受けてくれる人が見つからないことだ。深尾さんはすみれ棟の住民みんなの顔を知っているが、「住民同士のつながりがどこまであるの？誰があとの面倒を看るの？」と考えると、誰かを指名することをためらってしまう。それは、西成の公営住宅の自治会が抱える問題と一緒だ。

### コミュニティのわけ探し

完成当初の島団地は、住民主体の



迷路のような複雑な立体街路

居者との関係ではコミュニティとプライバシーの線引きが難しいようだ。また、「モンスペース（みんなの場）」をあちこちに仕掛けるなど、住民間のつながりが自然と保たれるように工夫はなされているのだが、「みんな」という意識は薄れてきているようだ。事実、孤独死も起こっているし、各棟に設置された集会所もあまり使われていないようだった。

### 町内会（自治会）のいま

町内会の様子を聞きに会長の深尾さ

コーポラティブ方式で見事に再生した公営住宅だ。しかし、賃貸である公営住宅に「持家」の発想を組み込んだ建物は、オーダーメイドであるがゆえに、新しい入居者の戸惑いを生み出したり、維持費が高つくいたり、それなりに課題を抱えていた。コミュニティ維持の仕掛けもハード面での工夫は凝らされたが、それを大切にしてくれる深尾さんのようなお世話役がいなければ陳腐化するだろう。

そもそも賃貸である公営住宅にコミュニティ性を求めることはやめて、仮住まいと割り切る選択が現実的なものかもしれない。しかし、そこを最終の家とする住民が多いことも事実で、公営住宅に何かしらのコミュニティ性を求めてしまうことも無理からぬことだ。

では、コミュニティをコミュニティたらしめているのは何だろうか？それは、ハードの良し悪しよりもむしろ、団地住民が共有するストーリーではないだろうか。イベントなどの実施作

んが待つ「談話室」を訪れた。再生計画から参加し、今も島団地に住む深尾さんを中心に、数人の住民たちが集まり、手芸を楽しむお茶会が開かれていた。深尾さんは「完成当時はみんな喜んでだよ！街灯が少ないまちに光り輝くまっさらな住宅ができたんだから。でも、びっくり！電気代が高くて、市や住民同士で話し合いながら電球を間引いたり、なんとか共益費のなかで収まるように工夫をした」と、みんな

で何とかして作りあげていこうとした時代の様子を笑顔で話してくれた。現在のすみれ棟は、再生計画から住む13世帯、それ以降に転居してきた17世帯で構成されている。新たな入居者は、深尾さんのところにあいざつに行き、すみれ棟のルールを聞く機会もある。月1回の清掃や除草に参加することや、参加できない場合は1000円を払うことを理解し合うことができる。そのおかげで、新旧住民間で大きな溝はなく町内会が良い雰囲気だそうだ。

業を一緒に取り組んで顔見知りになり、煩わしさや戸惑いを「しゃあない」と分け合うことが大切なのだろう。月1回の住宅清掃にもそうした機能があつたのかもしれない。

そういえば、島団地の外観は西成地域にある定期借地権付きのコーポラティブハウス「ハーモニービレッジ」とよく似ていた。いわば「期限付きの持家」であるハーモニービレッジのコミュニティ性も気になった。

文責・西田吉志・田岡秀朋



住民が利用できる談話室



# にしなりもん

西成にもまだまだ発掘されていない文化資源・社会資源は存在するはず。これら西成産のモノやコトを「にしなりもん」と名づけ、その由来やエピソードを辿っていきます。

## 子どもの頃の記憶に寄り添うお菓子屋

子どもの頃の思い出にお菓子は欠かせないだろう。たとえば、下校時に先生に見つからないよう駄菓子屋に寄り道したり、お小遣いの予算に収まるよう（私が小学校の時で300円）、遠足に持参するお菓子を厳選したり、その思い出には楽しさが伴う。鶴見橋商店街のお菓子屋「おやつの集いマスタ」は、そんな子どもの頃の記憶に寄り添ってくれるお店だと思う。

お店の敷地はお菓子屋さんにしてはかなり広く、一〇〇種類を超える豊富な品揃えを誇る。店先には真夏にもってこいのアイスクリームが全品10%引き。コンビニではあまり見かけない懐かしいアイスも置いてあった。店内に入ると、お茶うけの煎餅やオカキ、ポテトチップス、チョコレートと定番のラインナップ。お中元用に水ようかんや洋菓子の詰め合わせも用意されていた。特に目を引いたのが駄菓

子。幼い頃の記憶にある駄菓子が今も陳列されている。コンビニの駄菓子コーナーにはない商品を見つけると、懐かしい感覚に囚われてしまう。

「マスタ」の歴史も古い。いまの店主は初代のお父さんから引き継いだ2代目。15歳で店を手伝い、25歳の頃に店を引き継いだ。その当時はスーパーを経営されていたそうで、約25年前にお菓子屋さんに転業された。敷地の広さはそのためだと得心した。店主は現在80歳。65年も前から商売されていることになる。

全国的な傾向だが、西成区でも駄菓



## 一三〇〇年も遡る地名の由来

この地名の由来を知ると、まずその長い歴史に驚かされる。「西成」の地名は、奈良時代の和銅6（713）年に上町台地の西側一帯を「西生郡」と称したことに由来する。また、「上町台地の西側一帯」という文言も気になる。そう、当時の区域はとても広がった——現在の東西含む三つの淀川区、福島区、此花区、港区、大正区、北区、中央区、住之江区・西区・住吉区の一部、浪速区・西成区の大部分が、西成郡であった。対になる東成郡も現東成区よりも広い地域を抱えていた。

## 今宮村の二大奉仕ってなに？

『今宮町志』は「今宮村の歴史中最も重大なるもの」として、今宮村の人物とが「朝役」や「神役」に奉仕していたことを紹介している。朝役とは、天皇の食材の調達係（供御人）として今宮の浜で採れた魚介類を京都の宮中に奉る役目のことであり、神役とは、京都の八坂神社で行われる祇園祭の神事に、神輿を担ぐ者（神人）として村の116人が奉仕する役目のこと。現代風に言うところ今宮村は「皇室ご用達」の村であり、そのことを我が村、我が町の誇りとしてきた町民は、昭和天皇がこの『町志』をご覧になったとき、無上の光栄に感じた、と碑は伝えている。

西成区にはさまざまな歴史が存在する。しかし、現在、多くの人が「西成」という地名に対してあまり良い印象を持たれていない。そのためにも、西成区に因んださまざまな歴史を掘り起こし知ってもらうことが今後も求められるであろう。

文責：山村裕太・寺島史視

子屋の数は激減している。私が小さいときに遠足前に通っていた店も全て無くなっていく。「マスタ」には懐かしい駄菓子も置かれている。童心に戻って駄菓子をあれこれ物色する楽しみに浸れるお店だ。

## おやつの集いマスタ

住所：西成区鶴見橋3の6の12  
鶴見橋商店街7番街  
電話：06-6562-2557

## 平成の世に改めて西成区を顕彰する碑

この写真の碑をご存知だろうか？ 区役所前の広場にあるのだが、昨年11月に建立されたばかりとあって、知らない方も多いはず。この「西成区顕彰碑」は、「歴史上、天下に対する大きな誇りと名誉を創りあげてきた先人の遺業を讃えるため」に設置された。顕彰碑には「西成の地名」と「今宮村の二大奉仕」という表題がある。せっかくなので紹介しよう。



【田岡秀朋】初めて丹後半島の伊根町の舟屋へ。潮の干潮差が少なく山が海岸に迫って道よりも舟が便利だったとか。ゆえに舟屋あり。よいまちなみだった。



【佐々木敏明】遠雷や吾（あ）の鼓動汝（な）に伝えたり蝉しぐれ変調のなき同調庄炎暑なり居場所のベンチが拒否をする



【沖田一志】〇〇Payって使ってますか？種類が多くて分からないし、必要性を感じない。財布とクレジット、ICカードがあれば特に不便はない。割引？ポイント？拒絶反応を感じる自分がある。



植村 直美(うえむら なおみ)さん

毎週金曜日、喫茶「なび」のスタッフとして入っています。普段は鶴見橋商店街となにわ筋の交差点にある「コミュニティ・キッチン8」でお仕事です。趣味は釣り写真。以前は休日になると趣味を楽しみによく出かけていましたが、最近はめっきり減っています。釣りのお誘いはぜひぜひ。

喫茶「なび」は、お客さんもスタッフも垣根を越えてつながれる場、しんどい時もホッとできる場です。喫茶「なび」に來れば「笑顔」になれる。そんな居場所を目指してがんばりますので、ぜひお越しください。

# 些事争論

些事でも何でも気になったらあれこれ考えてみよう。いいこと思いつくかもしれないし。気づいたら西成にたどり着いていた、或るオタクのあちこち系コラム。

## 『カモン ジャパン』

普段と変わらない日曜日の朝。世紀の大誤報と見紛う信じられないニュースが飛び込んできた。「日本南アフリカに勝利」イギリスで開催されていたラグビーW杯で日本が南アフリカを34-32で破った試合だ。

正月はゴロゴロしながらラグビー観戦で過ごすことが多い僕は、「何点差で負けるか」と決め込んでいたので本当に驚いた。そもそも15人同士で戦うラグビーは、善戦することはあっても、チームの総合力がそのまま結果につながることも多い、つまりジャイアントキリングなんかあり得ないスポーツなのだ。日本は第1回W杯から出場していたが、この試合までは1勝21敗2分と結果を残せていなかった。その日本が世界TOP3の南アフリカに勝つ?にわかには信じられない。

無性にその試合が見たくなり、映像を探した。同点狙いのペナルティゴールではなく、トライを狙って勝ちに行く選択が功を奏した劇的な勝利に胸が熱くなり、結

果を知りながらサブいぼが出た。でも、繰り返し映像を見るうちに、ひとりの観客が気になりだした。時計の針が80分30秒を刻む頃、最後のスクラムを組もうと集まる選手たちから観客席にカメラが一瞬変わった。そこには熱狂する桜のジャージを身にまとった外国人女性がいた。

大敗続きの日本代表に海外のファンがいるとは思えない。もしかしたら、日本に留学経験があるのか? イギリスの日本企業に勤めるスタッフか? 日本国籍なのか? としようもないことを考えていた。

ところが、ネット社会はすごい。#ワールドカップラグビー #熱狂する外国人 #日本対南アフリカ と検索すると、『ハフィントンポスト』の記事「カモン! ジャパン!! 南ア戦の女神をついに発見!!」が出てきた。詳しい情報は「ラグビーW杯イングランド大会 みんなの観戦記」という雑誌に掲載されているそうだが、日本ラグビーの大ファンでイギリス在住のサリーさんという女性であること

## 3くふうたま 6 畳 間

ハナレバナレになった人とまち。くらしの窓から、紡ぐヒントを探してみる。

### ばのこつば

まちを歩きながら何を感じるだろう。通勤や買い物や散歩、夜は馴染みの居酒屋に向かう、ただの通りすがりの道に。

「場」が語りかけてくることもある。その言葉は人や気分によつて変わる。僕は昔ながらのまちや建物を見ると、当時のくらしや考え方が時を超えて好奇心に訴えかけてくるようである。

写真のたみ・ふすま屋さんは、外装や建具は比較的新しく、改装を重ねられているようだ。また、屋根や2階軒先の造りの工夫、右手に延びる長屋の形態から、辺りの同時代の建物とは異なり、当時でも立派な建物だったことが伺える。生活様式が西洋化する中、お店を新装して畳や障子の張替えの仕事が続けられるようだ。大事な文化が継承されていてとても嬉しい。

立派に目立つ角地に建ち、「畳と襖は、まかせとけい!」と聞こえる。

シャッターが開くとタバコ屋さんが現れる。これも地域に根ざした商売だ。

僕達はそんなまちに溢れる言葉にどう応えられるだろう。

(安田拓也)



通りの顔? たみ・ふすま屋さん

がわかった。まあ、便利とはいえ、一瞬映像に映し出された女性が特定できてしまうネット社会の怖さも感じた。いかにも争論になりそうな些事である。

ところで、9月20日から日本ラグビーW杯がスタートする。花園と神戸でもそれぞれ4試合が予定されている。ぜひ、生ラグビーを一度体験しては? 次はあなたがネットで特定されるかも。

ハンブレイ・T



© 2015 TuneCore



[安田拓也] 半年ほど前にこのまちにやってきたおっちゃん、この間でもまちに住めなくなり、行く場所を失った。でも自らの課題に向き合う覚悟ができたようで、また会える日が楽しみだ。



[西田吉志] 医者から日焼けを避けるように言われてたけど、祭りやキャンプやプールや海やらで今年もがっつり焼けました。それでもやっぱり四季の中で夏が一番好きかな。楽しいことが多いから。



[寺島史視] 子どもサマーカーンで小学生15名と大人10名の計25名で京都の伊根町へ行き、海水浴やBBQ、花火大会と一緒に楽しんだ。子どもたちのために何ができるかなあ。



[谷口円] 京橋のJRと京阪の間のスペース、独特の空気があるませんか? 様々な社会の間に繋がってそうな感じというか、何かにいざなわれそうというか…。なんでこの場所なのか気がなる所。

# 葉っぱの吐見

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱとのお喋りを聞いてください。



## 「ベンジャミン」の巻

私のヘアースタイルはむかし流行ったアフロヘア。友だちからはダサイ！と言われることもあるけれど私はこのヘアースタイルが大のお気に入り。音楽にあわせて頭を振るとカサカサ音がなる。まるでミュージシャンになった気分です。

でも悩み事もある。

まずは2週間に1度は鏡の前でヘアースタイルのチェック。つぎはダンスをするたびに床は葉だらけ。さいごは抜け葉のせいでハゲたらどうしよう…。

でも私はアフロヘアが大好き。なぜなら自分の個性を表現できる、とても素敵なスタイルだから♡

赤井まゆみ

### ベンジャミンのこと

原産地はインドから東南アジアにかけての地域。葉は小さく緑または班入りもある。花言葉は「永遠の愛」「友情」「信頼」

# い湯がげん

## 障がい者が法を変える

「れいわ」の重度障がい者が参院比例選挙の特定枠から立候補した時、よくこんなことを考えたものだと言った。当選の確率は高そうだった。

そうなる、通勤や通学には認められていない介助保障を国会議員にどうするのだろうか、ワクワクしながら見てた。法律が認める「合理的配慮」を運用して参院負担するか、いやいや一気に法律改正してしまおうか。頑なに障がい者議員の自己負担を求めるか。障がい者国会議員を前に、ごまかしは効かないと思った。

始まってみると、当事者パワーはやっぱ凄かった。あつという間に参院負担が決まった。でも、それで済む問題ではない。すかさず、障

がい者議員は、「私を特別扱いするのか！一刻も早く法律改正を」と質問書を提出した。

各党、言い方には多少の差が出た。維新の会代表でもある松井大阪市長は、執拗に「議員特権はダメ」とこだわって、山本太郎さんに「昭和のオッサン」呼ばわりされた。本論から逸れたやり取りをあれこれ論じる気はない。松井市長も法改正は必要と言明した。

これからどうなる。そもそも障がい者の総合支援と大きく構えなりました。欠陥の総合支援法だ。さいたま市の女性の重度障がい者が、市役所に直談判したのは2017年7月。市も厚労省に要望したが

埒があかない。業を煮やした市は、今年から市独自で通勤介助保障を作ってしまった。このさいたま市の女性障がい者が井戸を掘ったエライ人だ。それを知っているだろうか、れいわの2人も参院特例なんかでは引き下がれない。

こんなことを目の当たりにして、一体ボクらは何をしていたんだろう、政党も何をしてるんだろう、そう思わせた。だからと言って卑下するんじゃない。野党が与党、しみじみ思う。障がい者議員にそう気づかされた。いま良い経験をしているということだ。

ボクは、松井市長は合点さえない。たうら行動は敏な人だと思ふ。府知事時代の最後には、障がい者就労支援のハートフル条例を改正してくれたから。さいたま市のように国に働きかけてくれると期待もする。さもなければ、大阪市は独自の制度を作ることも辞さない。それなら、ボクは、市長の多少の言葉足らずは気にならない。

# 皮算用 胸算用

今、日本と韓国の外交問題が深刻になっている。知り得るのは報道の範囲内ではないが、一国の首脳陣同士の政治的なやりとりがこれほどまでに国民意識を左右させる事態に、ただならぬものを感じる。もしかして、戦争に至る経緯を目の当たりにしているのだろうか、と考え込んでしまう。

戦争をしたいと思っている者は誰もいないだろう。しかし、現在日本を取り巻くアメリカ、ロシア、中国、韓国、北朝鮮、イラン、どの国を見ても戦争に向かって一触即発の状況にあるように感じる。本来なら、日本がここで踏ん張って、戦争を回避する外交に努めてもらいたいものである。私たちは地域で多文化共生の可能性を考え、世界中の人と仲良くなれる機会を作り出していきたいと思う。

(寺本良弘)

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

公的通勤介助保障に法律を改正すると言っても、企業の負担は大きくならない。公的保障に合理的配慮を重ね合わせることになる。1つの例が大阪府の就労支援条例で考慮された「就労支援費込労働単価」。自治体は就労支援費を予定価格に積算し、企業は雇用する障がい者の実情に合わせた支援計画と突合せ。府認定の中間支援組織がこれをコーディネートし、審議会が検証する。よくできたこの制度は当時知事だった松井市長の功績で、今年の4月から実施されている。上述に「福祉は自治体が与党」と付け加えることもできよう。何せ当事者パワーはすごい！



[山村裕太] 暑いですね。知り合いとのあいさつが「こんにちは」でなく「暑いですね」になることがほとんどです。天気や気温の話って共有できる最も簡単な話題だから便利です。



[若松司] 令和の時代、あと20～30年経てば同じような話題が世間を騒がせるだろうから、今のうちから勉強。皇国史観では後醍醐天皇は「建武の中興」という位置づけらしい。

地域の縁を心でつなぐ

# 心の時間

書くと「ちよūdと良い」の意味が出てきます。

お釈迦様はご自身の修行経験から極端な苦行と快楽を否定し、「いい加減」の道(中道)を歩んで自分の本来の姿に気づかれ、全てを引き受けることが出来たら、苦しみから解放される、と説かれました。

しかし「わかっちゃいるけど、やめられない」。この植木等さんのスーダラ節のように、人は、わかっているけど「死にたくない、愛する人と別れたくない」と全てを引き受けることが出来ずに苦しむのです。

仏教は生きている人の苦しみに寄り添う教えです。「あきらめる」も「いいかげん」も苦しみを乗り越えて行く為の大切な智慧に思えます。

松向寺 通法

私のモットーは「あきらめましょう」「いいかげんに生きましょう」です。一般に「あきらめ」は「希望がない」と思っている、「いいかげん」は「無責任」などと否定的な意味が強い言葉です。しかし仏教では「あきらめる」は「諦める」と書き、「明かに見る、真実を見つめる」という大切な意味を持ちます。「いいかげん」も「いい加減」と

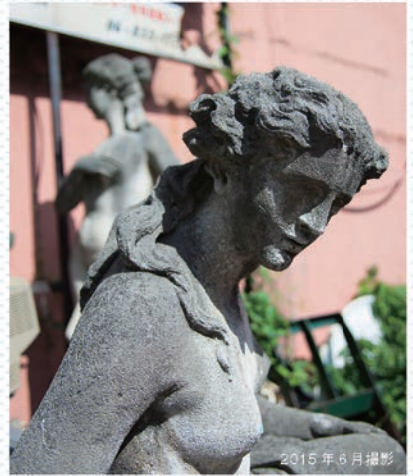
## ココロ

ここはどこ？  
わたしは学べた  
編集部が崩壊した  
「にしなり100景」  
大公開！

なんとなく物憂げな表情の石像…しかも1体ではありません。これらの石像は「なぜここにあるのだろう…？」という場所にありました。背景に写る壁の色や、ぼんやり見える看板などがヒントになるかも？さて、ここはどこでしょう！

答えは次号にてお知らせします。お楽しみに！

【先月号の答え】 大阪メトロ四ツ橋線玉出駅の近く、玉出本通り商店街の中(西成区玉出中1丁目付近)でした！



2015年6月撮影



## ゆ〜とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられるごことはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび9月号(vol.151)  
発行日:2019年9月1日(創刊日:2007年1月1日)  
発行:株式会社ナイス  
住所:大阪市西成区長橋3-6-33  
電話:06-6563-1156  
E-mail:info@nice.ne.jp  
url:http://www.nice.ne.jp/

編集長:若松司  
編集:沖田一志、佐々木敏明、田岡秀朋、  
寺島史視、西田吉志、安田拓也、山村裕太、  
(あいうえお順)  
イラスト:hidarimaki デザイン:谷口円

facebook: <https://www.facebook.com/navi.nishinari/>

facebook

